


# エコけんニュース

No 41 2002. 12.

連絡先 NPO法人エコけん事務局 ☎092-943-0129 e-mail 7dshuix-board@ngo.jp

発行責任者 清水佳香

 <http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/>

プラスチック回収は

**1/12 (日)**

2 / 9 (日) \*第2日曜日

舞の里1丁目集会所 8:30~10:00

舞の里小学校玄関前 9:00~11:00

※ 雨天：集会所内、舞小体育館にて回収。

内容物を取り出して、水気を切って持ってきて下さい。

## 12月8日(日) プラスチック回収報告

ご協力ありがとうございました。

参加世帯数						回収量	カンパ
355							
1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	その他	119ふくろ (881.7kg)	17,760 円
87世帯	26世帯	35世帯	78世帯	93世帯	36世帯		

## プラスチックは、市が分別回収を始める予定です

エコけんの

①『1丁目会場』は来年1月で回収拠点を終了します。



ここは、市の分別回収会場と同じ場所であるため、回収拠点変更之际、混乱が予想されます。それを防ぐための移行措置です。

1丁目会場にご参加の方は、申し訳ありませんが、来年2月、3月は舞の里小学校会場へご参加ください。

②『舞の里小学校会場』は来年3月まで回収を続行します。

# 4月からは容器包装材を

4月からのプラスチック回収の対象品目は、**\*容器包装材**になります。これは西部清掃工場にストックヤードができ、処理を指定法人ルートに乗せられるようになったからです。



その結果、自治体の処理負担額が1割程度で済みます。残りの処理額を負担するのが、容器包装リサイクル協会ですから、処理対象品目が容器包装材に限られるというわけです。

**\*容器包装材**：商品を入れた器や包み

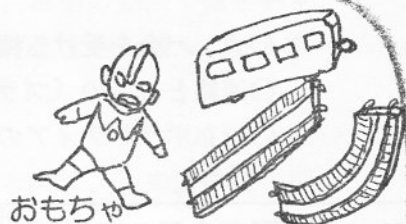
でもご心配なく。これまでエコけんで集めていたプラのほとんどが、容器包装材です。回収に出せないものは、ほんの少しです。

## 回収できないプラスチック例

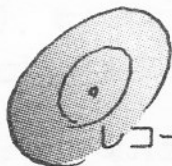


洗面器

バケツ



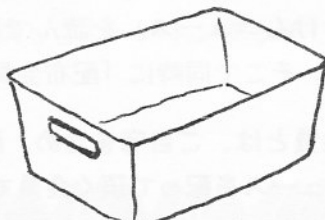
おもちゃ



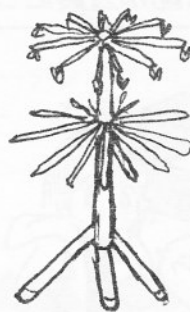
レコード・CD



食器・密封容器



衣類収納ケース



洗濯物干し

商品の入っていた、  
いれものか  
ぬせる!



商品そのものは  
出せないのネ...

「そのものを大事に長く使うことができるもの」は、プラ回収に出せなくなります。なるべく使い捨てしなくて済むよう、買い物の時にくふうできるといいですね。

# 「ニュース会員」・「配布会員」募集のお知らせ

3年前、「ごみ減量大作戦」として出発した「エコけんニュース」も41号を数えました。ニュースの発行は、エコけんにとって、とても大事な活動のひとつでした。そしてそれを支え続けてくださったのは、一軒一軒手配りしてくださった、たくさんの配布ボランティアの方達でした。



## ニュース会員について

これまでエコけんニュースに欠かせなかったのは、プラスチック回収関連の記事でした。来年3月のプラ回収終了後は、「エコけんニュース」をリニューアルして継続発行していきたいと考えています。

そして、エコけんニュースは来年4月より、これまでの全戸配布から、申し込み頂いたニュース会員の方へのお届けに変更になります。

理由は以下の通りです。

- カンパ金を受ける機会が無くなり、ニュース発行の収入源が途絶える。
- 連絡としての「プラ回収」に関する記事が不要になる。
- 配布ボランティアの方の負担軽減。

## ニュース配布会員について

エコけんでは、できればこれまで通り、なるべく多くの方に「エコけんニュース」を読んで頂きたいという希望を持っています。そこで同時に「配布会員」も募集します。

配布会員とは、ご自宅を含め、配りやすい所に毎月20枚程度、ニュースを配って頂く会員です。

会費は不要ですが、所定の場所までニュースを取りに来て頂く必要があります。



なお、**賛助会員**（3000円/口・年）は、ニュース会員の特典を有します。受け取り方法をご連絡下さい。

お申し込みは、別紙申込用紙にご記入の上、プラ回収にご持参ください。なお、FAXやホームページメールでの申し込みは常時受け付けています。ご質問は事務局にお電話ください。



# 静かな「森の土」 その4. 簡単「森の土」製造法 ...



「森の土」製造のポイントは水分を保つ事。そのための方法は...  
なーんだ、簡単じゃん。ビニール袋に入ればいいんですって。

今まで買った腐葉土やバークの大きな袋に、切ったばかりの  
剪定枝や、(もちろん、根付き・土付きの) 草を放り込みつつ、  
米ぬかをふりかけます。そして口をきゅっとひもで結ぶと  
できあがり。すると透明の袋越しに、たくさんの水滴がつい  
ていくのがよくわかりました。植物の持っている水分って、  
思ったよりたくさんあるんだな〜。



この方法で試してみても、待つ事5ヶ月。水分が足りなさ  
そうな時には足していきました。すると、箱に積んでいく  
以前の方法よりかなり時間短縮で、しっとり「森の土」に  
なりました。水分の確保に加えて、温室の効果で微生物を  
活性化させたようなんです。ときどき上から踏んだりして  
刺激(?) したのもよかったのかなあ。

取り出す手間いらずで保管できるので、この方法は一押  
しのおすすめです。皆さんもいかがですか？

腐葉土製造のおもしろグッズもあるそうです。その名はおしゃれな「ガーデンバック」。  
次回『静かな「森の土」』は、そのお試しさんへバトンタッチします。さて、どんな感じか  
な。お楽しみにネッ。

エコまま



～事務局より～



❖ レジ袋のご協力、ありがとうございました。おかげさまで、きれいなものがたくさん集  
まりました。

